

( 別 紙 1 )

国立の教員養成大学・学部（教員養成課程）の平成23年3月卒業者の就職状況

○ 調査結果の概要

国立の教員養成大学・学部（教員養成課程）卒業者の教員就職率は、少子化による児童生徒数の減少等に伴い教員採用者数が減少したことから、平成11年3月卒業者の教員就職率は32%にまで低下したが、その後、教員採用者数の増加や、教員養成大学・学部の入学定員減などにより、近年は50%台後半を維持しており、今年は62.0%（前年比2.4ポイント増加）であり、前年よりやや高い教員就職率となっている。

なお、卒業生数から保育士への就職者と大学院等への進学者を除いた場合の教員就職率は、70.6%（前年比2.8ポイント増加）となっている。

区 分	就 職 者					進 学 者	そ の 他 未就職者	卒 業 者 ( 計 )
	教員就職者	左の内訳		保育士への 就 職 者	教員・保育 士以外への 就 職 者			
		正 規 採 用	臨時的任用					
平成23年 3月卒業生	6,494人 (62.0%) (70.6%)	3,820人 (36.5%) (41.5%)	2,674人 (25.5%) (29.1%)	150人 (1.4%) —	1,752人 (16.7%) (19.0%)	1,137人 (10.9%) —	946人 (9.0%) (10.3%)	10,479人 (100.0%) (100.0%)
(参考) 平成22年 3月卒業生	6,274人 (59.6%) (67.8%)	3,507人 (33.3%) (37.9%)	2,767人 (26.3%) (29.9%)	123人 (1.2%) —	1,897人 (18.0%) (20.5%)	1,150人 (10.9%) —	1,079人 (10.3%) (11.7%)	10,524人 (100.0%) (100.0%)

(注)

1. 各年の9月末までの状況を取りまとめたものである。
2. 「教員就職者」とは、国公私立の幼稚園、小、中、高等、中等教育、特別支援学校の教員（養護教諭を含む。）として就職した者の数である。
3. 「臨時的任用」とは、臨時的に病休、産休、育児休業などの代替教員等として任用された者の数である。
4. 「保育士」とは、保育所および認定こども園への就職者の数である。
5. ( ) 内上段は卒業生に占める割合(%)、( ) 内下段は卒業生数から保育士への就職者と大学院等への進学者数を除いた数を母数とした場合の割合(%)である。

○教員就職率が高い大学

大学名	教員就職率
鳴門教育	77.9%
兵庫教育	74.7%
愛知教育	71.8%
京都教育	70.1%
岐 阜	69.5%

○教員就職率が低い大学

大学名	教員就職率
秋 田	44.5%
琉 球	47.2%
鹿 児 島	47.2%
岩 手	49.1%
福 井	50.5%